

新居浜市議会議員紹介

「4年間よろしくお願ひします」

4月21日(日)に行われた新居浜市議会議員選挙で当選した市議会議員26人を紹介します。
これから、4年間市民の代表として市政の発展に尽力していきます。
【掲載は、氏名の五十音順(敬称省略)、項目は氏名・(年齢)・(住所)・所属会派です。】



しのはら しげる
篠原 茂 (70 歳)
(光明寺一丁目)
新居浜の未来を
考える会



かわうち ゆうこ
河内 優子 (46 歳)
(星原町)
公明党議員団



おち かつのり
越智 克範 (68 歳)
(桜木町)
自民クラブ



いたに ゆきえ
井谷 幸恵 (66 歳)
(大生院)
無会派



しらかわ ほまれ
白川 誉 (44 歳)
(新田町一丁目)
自民クラブ



くろだ まさのり
黒田 真徳 (47 歳)
(東雲町一丁目)
公明党議員団



おの しほ
小野 志保 (47 歳)
(清水町)
無会派



いとう けんじ
伊藤 謙司 (50 歳)
(新須賀町一丁目)
自民クラブ



かみの たかよし
神野 恭多 (36 歳)
(大生院)
新居浜の未来を
考える会



さいとう しんいちろう
合田 晋一郎 (53 歳)
(坂井町二丁目)
新居浜の未来を
考える会



おの たつお
小野 辰夫 (72 歳)
(沢津町三丁目)
自民クラブ



いとう ゆうこ
伊藤 優子 (67 歳)
(庄内町一丁目)
自民クラブ



せんば けんいち
仙波 憲一 (64 歳)
(船木)
自民クラブ



こんどう つかさ
近藤 司 (70 歳)
(田の上一丁目)
自民クラブ



かたひら えみ
片平 恵美 (51 歳)
(久保田町三丁目)
無会派



いとう よしひで
伊藤 嘉秀 (53 歳)
(中村四丁目)
自民クラブ



やまもとけんじゅうろう
山本 健十郎 (81 歳)
(萩生)
自民クラブ



ふじた ゆきまさ
藤田 幸正 (71 歳)
(垣生六丁目)
自民クラブ



ふじた せいいち
藤田 誠一 (49 歳)
(庄内町六丁目)
自民クラブ



たくぼ ひでみち
田窪 秀道 (60 歳)
(多喜浜四丁目)
自民クラブ



だいじょう まさひさ
大條 雅久 (65 歳)
(西泉町)
自民クラブ



よねたに かずゆき
米谷 和之 (65 歳)
(中秋町)
新居浜の未来を
考える会



ふじわら まさひこ
藤原 雅彦 (59 歳)
(星越町)
公明党議員団



ふじた とよはる
藤田 豊治 (70 歳)
(船木)
自民クラブ



ながやす ひでみち
永易 英寿 (45 歳)
(東雲町二丁目)
自民クラブ



たかつか ひろよし
高塚 広義 (65 歳)
(萩生)
公明党議員団

開催日	内 容
6月10日(月)	議案上程、説明、質疑、委員会付託
6月18日(火)	一般質問 永易 英寿 議員(30分) ・予算質疑 黒田 真徳 議員(30分) 神野 恭多 議員(30分)
6月19日(水)	一般質問 藤田 幸正 議員(30分) ・予算質疑 河内 優子 議員(30分) 井谷 幸恵 議員(10分) 大條 雅久 議員(30分)
6月20日(木)	一般質問 合田晋一郎 議員(30分) ・予算質疑 片平 恵美 議員(10分) 仙波 憲一 議員(30分) 小野 志保 議員(10分)
6月21日(金)	福祉教育委員会開催 環境建設委員会開催
6月24日(月)	企画総務委員会開催 市民経済委員会開催
6月27日(木)	委員長報告、討論、採決

6 月市議会定例会

会期 6月10日(月)～6月27日(木)

時間 午前10時開会

場所 本会議の傍聴：市役所7階本会議場傍聴席
委員会の傍聴： // 6階各委員会室傍聴席

放映 本会議はCATVで生中継、録画放送および市議会ホームページで動画配信を行います。

市議会本会議は公開されており、どなたでも傍聴することができます。また、委員会では、委員長の許可を得て傍聴することができます。

議場の傍聴定員は72人で、椅子席が70、車いすスペースが2となっています。

傍聴者席入口は、市庁舎7階にあります。傍聴を希望される方は直接お越しいただき、入口前に備えている傍聴人名簿に所定の事項をご記入ください。席は自由席です。傍聴規則も守って静かに傍聴してください。

お気軽に傍聴にお越しください。

2月市議会定例会

一般質問

2月市議会定例会では、2月26日(火)から2月28日(木)の3日間の日程で、12人の議員が一般質問を行いました。紙面では一部の質問を要約し、質問順に掲載しています。なお、未掲載の質問などは、会議録やホームページをご覧ください。



2月26日(火)

自民クラブ(代表質問)
仙波憲一議員(40分)



(1)平成から次の時代へ

①政策、財政

(ア)住民ニーズの把握

(イ)自治会と自治会加入率

(ウ)子育て支援

②環境政策

(ア)住宅用省エネ・新エネ設

備設置費補助制度

(イ)温室効果ガス排出量と対策

(ウ)対策効果等の点検公表

(エ)公表の利活用

③福祉人材の確保

(1)①②(ア)住宅用省エネ・新エネ設備設置費補助制度

問 国では、地球温暖化対策計画に基づき、地球温暖化対策を進めているところであるが、市では、地球温暖化対策の一つとして行っている住宅用省エネ・新エネ設備設置費補助金が、9月には予算を消化してしまう状況である。市はこの状況をどのように考えているか。

答 市民一人一人が環境への取り組みを実践していくことは非常に重要であり、当該補助事業の拡充は有効な手だてであるため、今年度の状況を踏まえ、家庭用蓄電池の補助件数を大幅に増やすほか、新たに省エネ性能の高い住宅ZEHを補助対象に加えた予算措置を行っている。今後により多くの市民の方の省エネ設備等の導入に対し、積極的な支援に取り組んでいく。

(1)③福祉人材の確保

問 歯科衛生士、保育士、介護従事者など、福祉・医療関係の従事者は、その果たす役割がますます重要視されているにもかかわらず、全国的にも人材が不足している状況にある。本市も例外ではなく、福祉人材が不足しているが、市は福祉人材確保にどのように取り組んでいくのか。

答 福祉人材確保対策は喫緊の重要課題と認識しており、勤務環境の改善、教育カリキュラムの見直しや実習環境の充実、新人職員の早期離職防止策など、国の政策として新たな制度の創設や処遇改善などの対策が必要と考えているが、本市としても奨学金返済助成制度や離職者の再就職支援、潜在有資格者の掘り起こし対策、福祉、介護のイメージアップにつながる情報発信など、人材確保に効果的な施策を調査研究するとともに、移住、定住にもつながる有効な方策について検討したいと考えている。

いずみ会(代表質問)
伊藤優子議員(40分)



(1)えひめさんさん物語について

(2)景気の動向と市債残高の見通

しについて

(3)職員の意識改革について

(4)森のようちえんについて

(5)地域医療構想について

(6)子供の貧困について

(7)水道事業について

(2)景気の動向と市債残高の見通

問 政府は国内の景気判断を「緩やかに回復している」と据え置いている。県内においても「緩やかな持ち直しが続いている」とされており、「回復しつつある」との判断だが、新居浜市の景気動向と市債残高の見通しについてはどのようなようになっているのか。

答 本市の景気の現状は、平成30年12月の有効求人倍率や本市経済に大きな関わりを持つ住友関連企業の平成30年4月から12月期の決算、市内中小企業の設備投資、生産活動などの状況から、おおむね好調に推移していると考えており、当面は緩やかな回復傾向が続くと考えている。市債残高については、平成31年度末に約552億4千万円とそのピークを迎えた後、減少に転じ、中長期的には500億円程度で推移すると見込んでいる。

⑥子供の貧困について

公明党議員団（代表質問）
高塚 広義議員（40分）



問 新居浜市では実態調査をしているのか。全国で子ども食堂や無料学習塾など子どもたちを支援する場所が増えているが、新居浜市の実態とどのような場所や活動に対して何らかの支援はしているのか。市としてどのような施策を実施しているのか。

答 実態調査はしていないが、平成31年度に県と連携して小学生およびその保護者にアンケート調査を実施する予定である。子ども食堂については、ボランティアグループや社会福祉法人などが市内4カ所で運営していると聞いており、その取り組み状況を注視しながら、支援の必要性を検討したい。また県が平成29年度から新居浜高専を会場にひとり親家庭学習支援事業を実施しており、平成31年度も継続する予定である。本市の施策としては、就学前医療費の助成などの経済的支援のほか、平成31年度からは、放課後まなび塾を別子を除く全小学校で実施する。

(1) 施政方針について

①ものづくりのまち新居浜

②新居浜市総合戦略

③防災・減災対策

④えひめさんさん物語

(2) 教育行政について

①学校施設の環境整備

②学校教育のさらなる国際化に向けた取り組み

(3) 福祉行政について

①子育て世代包括支援センター

②子育て支援の情報発信強化

③子育てワンストップサービスの導入

④障害者差別解消法

⑤生活困窮者自立支援制度について

⑥地域コミュニティの充実について

⑦Net 119緊急通報システムについて

⑧地域の課題について

(1) ③防災・減災対策

問 南海トラフ巨大地震などの発生が懸念されており、その対策が急務となっている。本市で

は、今後各種防災情報を一元化したマルチハザードマップの全戸配布やコミュニティFMと連動した防災ラジオの活用を推進するようであるが、具体的な時系列の取り組みについて伺いたい。

答 マルチハザードマップは、新居浜市総合防災マップとして6万部作成し、自治会の協力のもと、4月上旬ごろまでには各戸に配布できると考えている。また、Hello! New新居浜FM78・0で災害時には割り込み放送を行うとともに、FM放送の緊急情報を感じて自動起動する防災ラジオを整備し、災害時の情報伝達の多様化を図っている。平成30年6月から防災ラジオ購入費用の一部を助成しており、引き続き普及を図っていく。

(3) ③子育てワンストップサービスの導入

問 マイナンバーカードを利用して、子育てに関する行政サービスを窓口に向くことなく、オンラインで手続きできるサービスが平成29年11月から本格運用が開始され、一部の自治体でサービスが始まっている。子育て

でワンストップサービスの利便性と本市の導入について、見解を伺いたい。

答 マイナポータルは、児童手当の申請などの手続きに関して、市役所に向くことなく必要書類の確認やサービスの検索、電子申請や市役所からのお知らせを受け取ることができると、子育て世代の負担軽減が図られ、行政においても窓口業務の減少やコスト削減などが期待できるものである。子育てワンストップサービスの導入は、マイナンバーカードの普及率やシステム改修経費などを考慮すると現時点では難しいと考えるが、他市の事例などを参考に引き続き検討していく。

2月27日(水)

無会派
岡崎 溥議員（10分）



(1) 自治会問題について

①自治会と市政

②自治会と地方選挙

③自治会の民主的運営

(2) 議員等によるパワハラについて

①現在までの経過

②今後のパワハラ対策

自民クラブ
藤田豊治議員（30分）



(1)平成30年度施政方針と市長の
政治姿勢の総括について

(1)平成30年度施政方針と市長
の政治姿勢の総括について

問 人口減少社会、労働力不足、自然災害、福祉の向上などにはAI（人工知能）の導入が必要である。情報系、ソフト系、特にAIの活用を手助けできる技術を持っている企業誘致についてはどう考えているか。また、市役所内や出先でAIを導入している部門は。今後のAI導入の考えは。

答 情報系、ソフト系企業の誘致は、雇用創出や市内企業への波及効果が見込まれ、事業の効率化や新製品、新技術の開発につながることから、今後は市の助成制度や税制優遇制度の周知に努めるとともに、情報収集や関係機関と連携し取り組んでいく。市役所内では特定健康診査でAIを活用し勸奨案内を作成しており、結果を検証している。また、税の申告業務の自動化に向け西条市、四国中央市と連携し、実証実験の検討を進めてお

り、今後もAI導入に向け、引き続き調査研究、関係機関との協議を進めたい。

問 別子山地区はデルフィニウムの新品種さくらひめの生育苗の産地。別子木材センターは約5万8千株を出荷。別子山の特産品としてどのような支援をしているのか。別子山地域の市有林の搬出間伐に向けた路網整備をし、将来、切り出した木材加工を別子木材センターで行うことで雇用の創出になる。進捗状況は。

答 今後も県内の生産拡大が見込まれることから、別子木材センターが行うさくらひめの育苗面積増加のために必要となる冷房施設増設などの施設整備に対して県と連携し支援を行うなど、別子山の特産品として成長していくよう支援する。別子山地区森林整備事業の実施に当たり、住友林業株式会社が有する専門的知見による業務支援を受け、最も効果効率的な手法で森林作業道の開設に着手し、銅山川北側の市有林に向け路網整備を行い、市有林に到達する4年度目から搬出間伐に取り組む予定である。

無会派
神野恭多議員（10分）



(1)持続的発展が可能な、活力ある産業活動の実現について

- ① 中小企業の持続的発展の促進
- ② 官民連携の推進
- ③ 次世代の人材を育むまちづくりについて
- ④ 人が集い、快適で利便性の高い都市の実現について

無会派
井谷幸恵議員（10分）



(1)学校給食費の無料化について

- ① 値上げ決定の経過
- ② 無料化への検討
- ③ 就学援助制度について
- ④ 利用状況
- ⑤ 制度拡充の必要性
- ⑥ 児童虐待について
- ⑦ ふえる児童虐待の現状とその対応
- ⑧ 子供の命を守るために求められること

自民クラブ
豊田康志議員（30分）



(1)新居浜市の将来展望について

- (2)政策懇談会と市長公約について
- (3)職員の意識改革について
- (4)えひめさんさん物語について

(5)教育力の向上と学校現場について

(1)新居浜市の将来展望について

問 Hello!New新居浜をスローガンに新しい新居浜を考え、新居浜みらい会議やU-18まちづくり会議などを開催し、多くの市民の声を取り入れようとしているが、10年後、20年後の新居浜市はどのような感じと考えるのか。また、新居浜の未来へどのような約束をしようとするのか。

答 次の時代を担う子や孫たちが、豊かな自然、歴史や文化、ものづくりの技など本市が誇れる地域資源を受け継ぎ、未来に向かって夢と希望が持てるような新居浜市にしなければならぬと考えている。そのためにもHello!New新居浜の合言葉のもと、さまざまな新しいをチカラに変え、より魅力的な町を目指し、新居浜市の明日を切り開いていく。

(4)えひめさんさん物語について

問 東予東部圏域イベントえひめさんさん物語が4月20日から



新居浜市議会事務局

←新居浜市議会のホームページへ
映像配信や会議録でさらに詳しく！

無会派

米谷 和之議員 (10分)



2月28日 (木)

約7カ月にわたり開催されるが、市民のほとんどが内容だけでなく、開催されることも知らない状況で盛り上がりが見られずと感じる。今後、市民や県内外へどのようなPRをするつもりか。また、観客動員や経済効果の見込みは。

答 県や3市も参画している実行委員会が中心となり、1月に結成された広報キャラバン隊などを活用して、県外各地でもPR活動を行うほか、各季節ごとに公式ガイドブック、さんマガを発行する予定であり、本市においてもそれらの広報ツールを最大限活用し、市民の機運醸成に努めたい。年間観光客数については、圏域全体で365万人を、本市では121万人を目標としている。経済波及効果については、約89億円と推計されている、いやしの南予博2016以上の経済効果が発現できるよう取り組みなければならぬと考えている。

(1) 福祉避難所の現状と課題について

自民クラブ

伊藤 謙司議員 (30分)



- (1) 児童生徒への虐待について
- (2) ひきこもりについて
- (3) 空き家、ごみ屋敷について
- (4) 通学路の安全について
- (5) 道路の整備、安全管理について
- (6) 水路の維持管理について
- (7) 旧労働会館跡地について

(1) 児童生徒への虐待について

問 児童虐待の悲惨な事件が多い。人的な対応ミスもあり、尊い幼い命をなぜ救えなかったのか憤りを感じる。核家族化が、家庭の子ども教育機能の低下を深刻化させ、虐待の増加につながっていると思う。学校では家族の大切さを学ぶ授業はどうしているのか。

答 家族の構造が多様化しており、一律の価値観での取り組みは難しいところがあるが、現在小中学校の道徳では、家族愛、家庭生活の充実、思いやりや感謝、命の尊さといったものを学んでおり、その中で家族の大切さが子どもたちの身に付くよう

に今後も取り組んでいきたいと考えている。

(6) 水路の維持管理について

問 側溝のふたのガタガタ音、騒音は市民のたくさんの方が我慢しているところと思う。水路のグレーチング、ブロックふたのガタガタ音の対策はどうしているのか。

答 新たに水路を設置する際には、騒音対策に配慮した構造のふたにより施工しているが、既存の水路ふたのがたつき音には、応急対策として、ふたの受け部の清掃、ゴムや緩衝材の敷き込み、木くい等のくさびを打つなどの補修作業を行っている。それでも解消しない場合は、現場打ちのコンクリートによるふたの改良やボルト固定によるグレーチングおよび騒音対策に配慮したふたへの更新などを実施している。今後も新工法などを調査研究しながら騒音抑制に効果的な対策に取り組む。

いずみ会

篠原 茂議員 (10分)



- (1) 新居浜駅周辺の整備について
- (2) 市民討議会の導入について

いずみ会
大條 雅久議員 (20分)



- (1) 街路樹の必要性について
 - ① 桶中央通り
 - ② 惣開通り (原地庄内線)
 - ③ 上部東西線
 - ④ 平和通り (市役所通り)
- (2) SDGs (持続可能な開発目標) について
 - ① 日経グローバルの全国市区調査
 - ② 新居浜市の取り組み
 - ③ にはまSDGsアート・フェスティバル
- (3) 大部大課制について
 - ① 行政改革における大部大課制の定義
 - ② 平成15年以来的の変遷
 - ③ 上下水道局の創設

議事課

☎ 65 - 1321
FAX 65 - 1322

